

第9期計画策定に係る意見聴取(介護事業所向け)の結果について(報告)

1. 調査実施の目的
四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第8期計画」の改定に向け、その基礎資料とすべく、市内介護事業所から、事業所運営や稼働状況の課題を伺い、介護人材確保、施設整備等の施策の改善や充実に図るため。
2. 調査方法と回収状況
調査方法：市内介護事業所へのアンケート調査
調査期間：令和5年7月10日(月)から令和5年7月19日(水)
依頼状況：市内居宅介護支援事業所22か所、その他市内介護事業所112か所へ依頼。
回答状況：市内居宅介護支援事業所16か所、その他市内介護事業所53か所より回答。
3. 調査項目

問1 事業を運営する上での課題は何ですか。 (あてはまるものを3つまで回答可能)	回答	割合
1 新規利用者の獲得が困難	15	21.7%
2 利用者1人あたりの利用料が少ない	13	18.8%
3 設備・スタッフ不足で量的に利用者のニーズに応えられない	16	23.2%
4 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない	5	7.2%
5 利用者の身体状況の把握が難しい	0	0.0%
6 利用者からの苦情や事故への対応	3	4.3%
7 訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)	3	4.3%
8 入居者の認知症が重度化した場合の対応	7	10.1%
9 スタッフの確保	38	55.1%
10 スタッフが短期間で離職してしまう	5	7.2%
11 スタッフの人材育成	20	29.0%
12 責任者など中堅人材の確保・育成	16	23.2%
13 他のサービス事業所との競合が激しい	4	5.8%
14 他職種との連携	1	1.4%
15 他のサービス事業所との連携	4	5.8%
16 医療機関との連携	4	5.8%
17 介護報酬が低い	16	23.2%
18 その他	10	14.5%
19 特に課題はない	2	2.9%
【18 その他】(抜粋) ・逝去・入院・入所が多く、利用期間が短いこと。(訪問看護、認知症対応型通所介護) ・受け持ちの人数が多くなり事務処理の時間が取れない(居宅介護支援事業所)		

【備考】

問1表の割合は、各選択肢の回答数に対し、アンケート回答事業所総数で除して算出している。アンケートに回答した事業所のうち、運営上の課題として各選択肢を挙げた事業所の割合を示す。

【集計結果】

- 1位 9 **スタッフの確保**(55.1%) 2位 11 **スタッフの人材育成**(29.0%)
3位 3 **設備・スタッフ不足で量的に利用者のニーズに応えられない**(23.2%)
12 **責任者など中堅人材の確保・育成**(23.2%) 17 **介護報酬が低い**(23.2%)

アンケートに回答した事業所のうち、運営上の課題として「スタッフの確保」を挙げた事業所が半数以上存在するうえ、回答数上位5項目のうち、4項目が人材に関する課題となっている。

問2 従業員の過不足状況はいかがですか。(1つのみ回答)	回答	割合
1. 適正	19	27.5%
2. やや不足	25	36.2%
3. 不足	18	26.1%
4. 大いに不足	7	10.1%

【備考】

問2表の割合は、各選択肢の回答数を、アンケート回答事業所の総数で除して算出している。アンケート回答事業所のなかで、過不足状況の回答として各選択肢を挙げた割合を示している。

【集計結果】

回答した事業所のうち、従業員の過不足状況について、やや不足～大いに不足を回答した事業所は72.5%あり、約7割の事業所が全体の従業員数に不足を感じている。

問3 従業員の職種別過不足の状況は次のうちどれにあてはまりますか。 (各職種の配属あるないを回答の上、あてはまるもの一つ回答)	職種	配置あり	適正	やや不足	不足	大いに不足
ア. 訪問介護員	11	4	0	4	3	
イ. サービス提供責任者	14	11	2	1	0	
ウ. 介護職員	42	13	8	19	2	
エ. 看護職員	35	16	12	6	1	
オ. 生活相談員	32	22	5	5	0	
カ. PT・OT・ST等	28	16	5	5	2	
キ. 介護支援専門員	35	19	9	4	3	

【集計結果】

配置ありと回答した事業所のうち「やや不足」～「大いに不足」と回答した事業所が多い職種と割合
1位 介護職員＝69.0% 2位 訪問介護員＝63.6% 3位 看護職員＝54.3%

どの職種においても職員数が不足していると回答している事業所はあるが、配置がある事業所のうち、上位3位までの職種は半数以上の事業所で不足を感じている。

問4 (問2でやや不足～大いに不足と回答の事業所)不足している理由、原因は何ですか。(回答欄にあてはまるものすべて入力)	回答	割合 (回答/対象)
1 採用が困難だから	34	68.0%
2 離職率が高い(定着率が低い)から	12	24.0%
3 事業拡大により必要人数が増加したから	5	10.0%
4 他産業に比べて、労働条件等が良くないから	23	46.0%
5 介護の仕事に不安・マイナスイメージを持つ方が多いから	11	22.0%
6 同業他社との人材獲得競争が激しいから	23	46.0%
7 その他	9	18.0%

【その他】(抜粋)
 ・産休・育休等への対応。(介護老人保健施設、介護老人福祉施設)
 ・募集しても応募がない。(通所介護)(認知症対応型共同生活介護)

【備考】

問4表の割合は、各選択肢の回答数に対し、問2において「やや不足」～「大いに不足」と回答した事業所の数で除して算出している。事業所全体で従業員の不足を感じてる事業所のうち、不足している理由として各選択肢を挙げている事業所の割合を示す。

【集計結果】

- 1位:採用が困難だから(68.0%)
 2位:他産業に比べて、労働条件等が良くないから(46.0%)
 同業他社との人材獲得競争が激しいから(46.0%)

問5 令和5年7月1日時点の貴事業所の稼働状況についておたずねします。 【通所系事業所】 ※通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護	回答
①定員数	27.9
②令和5年5月の平均利用者数	21.2
└稼働状況(②/①)	75.9%
③利用のお断りの有無(あり)	2
③利用のお断りの有無(なし)	14

【集計結果】

各サービスごとの稼働状況

- ・通所介護:74.8% ・通所リハビリテーション:82.6%
- ・認知症対応型通所介護:65.6% ・地域密着型通所介護:70.4%

平均すると上記数値になるが、事業所ごとに状況が大きく異なる。稼働率90%以上の事業所が3つ(通所介護、地域密着型通所介護、通所リハビリテーション)ある一方で、稼働率が50%以下の事業所も3つ(通所介護、地域密着型通所介護)ある。

問5 令和5年7月1日時点の貴事業所の稼働状況についておたずねします。 (入所系事業所)【介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)】	回答
① 定員数(回答施設の合計)	478人
② 令和5年7月1日時点の入所者数(回答施設の合計)	450人
└③ ②のうち、男性の人数	133人
└③ ②のうち、女性の人数	317人
└④ ②のうち、保険者が四街道市の人数	261人
└④ ②のうち、保険者が他市(住所地特例)の人数	189人
稼働率(②/①)	94.1%
⑤ 令和5年7月1日時点の待機者数(回答施設の合計)	318人
└⑥ ⑤のうち、男性の人数	161人
└⑥ ⑤のうち、女性の人数	157人
⑦待機者の入所までの平均待機日数	7.2ヶ月

【備考】

- ・⑤令和5年7月1日時点の待機者数について
各施設から回答のあった数値を合計した数字であるため、他市が保険者の人も含まれている。また、複数施設を希望している人がいた場合、その希望している施設数分人数に数えられている。
- ・⑦待機者の入所までの平均待機日数
各施設から回答のあった数値の平均であるが、各施設により状況が異なる。最も短い施設で2か月、最も長い施設で18か月と回答している。

問5 令和5年7月1日時点の貴事業所の稼働状況についておたずねします。 (入所系事業所)【介護老人保健施設】	回答
① 定員数(回答施設の合計)	259人
② 令和5年7月1日時点の入所者数(回答施設の合計)	246人
└③ ②のうち、男性の人数	94人
└③ ②のうち、女性の人数	152人
└④ ②のうち、保険者が四街道市の人数	119人
└④ ②のうち、保険者が他市(住所地特例)の人数	127人
稼働率(②/①)	95.0%
⑤ 令和5年7月1日時点の待機者数(回答施設の合計)	19人
└⑥ ⑤のうち、男性の人数	9人
└⑥ ⑤のうち、女性の人数	10人
⑦待機者の入所までの平均待機日数	1.2ヶ月

問5 令和5年7月1日時点の貴事業所の稼働状況についておたずねします。 (入所系事業所)【特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)】	回答
① 定員数(回答施設の合計)	138人
② 令和5年7月1日時点の入所者数(回答施設の合計)	119人
└③ ②のうち、男性の人数	32人
└③ ②のうち、女性の人数	87人
└④ ②のうち、保険者が四街道市の人数	50人
└④ ②のうち、保険者が他市(住所地特例)の人数	69人
稼働率(②/①)	86.2%
⑤ 令和5年7月1日時点の待機者数(回答施設の合計)	10人
└⑥ ⑤のうち、男性の人数	4人
└⑥ ⑤のうち、女性の人数	6人
⑦待機者の入所までの平均待機日数	1.5ヶ月

問5 令和5年7月1日時点の貴事業所の稼働状況についておたずねします。 (入所系施設)【認知症対応型共同生活介護(グループホーム)】	回答
① 定員数(回答施設の合計)	90人
② 令和5年7月1日時点の入所者数(回答施設の合計)	77人
└③ ②のうち、男性の人数	15人
└③ ②のうち、女性の人数	62人
└④ ②のうち、保険者が四街道市の人数	77人
└④ ②のうち、保険者が他市(住所地特例)の人数	0人
稼働率(②/①)	85.6%
⑤ 令和5年7月1日時点の待機者数(回答施設の合計)	16人
└⑥ ⑤のうち、男性の人数	6人
└⑥ ⑤のうち、女性の人数	10人
⑦待機者の入所までの平均待機日数	1.9ヶ月

【備考】

- ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の入所者数について
令和4年度に定員を9増やした施設が1か所あるが、まだ定員増加分の入所者の受け入れを開始していない。定員増加分を除くと、稼働率は95.1%になる。

問5 令和5年7月1日時点の貴事業所の稼働状況についておたずねします。 【居宅介護支援事業所】	回答
①市内ケアマネ総数(アンケートに回答のあった16事業所のみ)	40
└うち常勤の職員	37
└うち非常勤の職員	3
②令和5年5月のケアプラン作成数の総数	1,275
└うち、予防プランの総数	186
└うち、介護プランの総数	1,089
③ケアマネ一人あたり平均ケアプラン作成数	31.9
└うち、予防プラン	4.7
└うち、介護プラン	27.2
③利用のお断りをしたことがある事業所	
あり	15
なし	1

【備考】

- ・介護支援専門員の稼働状況については、事業所ごとではなく、市内全体で集計した。
- ・介護報酬の居宅介護支援費(ケアプラン作成料)は、介護支援専門員一人あたり40件以上となると減算対象となる(予防プラン作成分は2分の1として計上)。

【集計結果】

事業所ごとに利用者受け入れ状況が異なる。一人当たり40件以上引き受けている事業所が2カ所ある一方、常勤のみ配置されている事業所で、一人当たりのケアプラン作成数が23～26件の事業所が2カ所ある。